

の成長を

# 子のやる気 親の気づき

〇〇43



12月も中旬、受験生は徐々に志望校が決まり始めました。そんな中、学校での三者面談で親子の見解が異なるケースが続いています。親御さんは「子どももやりたいことをやらせたい」、本人は「やりたいことはまだはっきりとは決まっていま

## 褒め言葉

せん」と話します。私はまず、人は経験、つまり繰り返しで「したい」と思うようになることもあると話します。勉強すべきと考えてみても勉強したいと思えないことがあったり、いつも一緒にいるうちにいつも一緒にいたいという思いになったりするとはないかと。もし小学校からの経験でつまずきを乗り越えてきたことが

# 「当たり前」を見続ける

## 「ちよい褒め」でやる気を



by yoriko

け、兄ちゃんにいじめられると泣きついたり、じつと親を見て心に留めていると伝えることではないでしょうか。自分の大切な親から「顔つきが変わったな!」と声を掛けられる「ちよい褒め」で、子どもは夢に向かって取り組みたいと思うようになるものです。(畑山篤志学塾塾長)

子に、できないときのやり直しをどのようにやらせてきたのでしょうか。かわいそうだから、やってあげた方が早いから...そう考えて手間を省いてきたとしたら、子はつまずきを乗り越えるチャンスを失ってきたのかもしれない。私は20年ほど前にある塾生の母親から聞いた子育ての話が忘れられません。「子育てはほっとくんです!」と、言い切った後で、「でも言葉は尽くさなくて」と。「子どもは疲れたと言うものではないと育ててきました。バカと言ったら『バカはバツテン!』として子育ての中で、親は

子に、できないときのやり直しをどのようにやらせてきたのでしょうか。かわいそうだから、やってあげた方が早いから...そう考えて手間を省いてきたとしたら、子はつまずきを乗り越えるチャンスを失ってきたのかもしれない。私は20年ほど前にある塾生の母親から聞いた子育ての話が忘れられません。「子育てはほっとくんです!」と、言い切った後で、「でも言葉は尽くさなくて」と。「子どもは疲れたと言うものではないと育ててきました。バカと言ったら『バカはバツテン!』として子育ての中で、親は

音

学校ICT(信技術)化の小学校への速に進む電子部科学省の「意欲や理る」と肯定する圧力的で、小から電子機器しんだ子ども違和感はない突然配備された。活用の子。活用の子。はいはい。童の手が勢、る神奈川県第一小学校の会科。プロ型の電子黒板されたのは、凶だ。郊外にる予定の自、ど、タッチ。ざまな場所子どもたち大・縮小、自由自在。学校何個分校の大きさを切り出して工場に重ね方も学習する一番前の帆さん(二)板を使うとしくて分か

# 教育

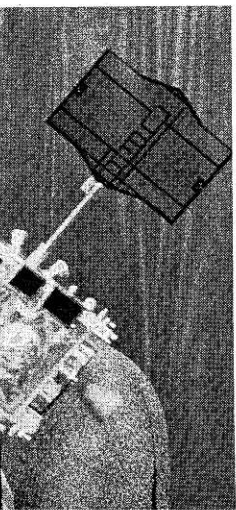
でスピードを落とし、金星を包み込んで、金星の周りを回って、上空からいろいろなかメラを使って調査する予定でした。

金星に近づくと、金星の周りを回って、上空からいろいろなかメラを使って調査する予定でした。

それなのに、金星を包み込んで、金星の周りを回って、上空からいろいろなかメラを使って調査する予定でした。

金星に近づくと、金星の周りを回って、上空からいろいろなかメラを使って調査する予定でした。

「あかつき」の失敗について記者会見する研究員  
12月8日、神奈川県相模原市の宇宙航空研究開発機構



# ニュース なぜなに